

“会社を伸ばす”採算管理と“会社を守る”資金管理

～経営者の関心事である「儲け」と「資金繰り」の両方をマスター～

講師：高下 淳子 氏 税理士・米国税理士・CFP®

☆経営者の関心事である「儲け」と「資金繰り」、その両方をマスターしていただくための経理リーダー養成講座です。

☆次のような課題を抱えておられる経理リーダーに最適の講座となっています。

「会社経営のカナメである資金計画の立て方と資金繰り表の作成方法は？」

「リーダーが知っておくべき損益分岐点と利益計画に活かす採算計算とは？」

「固定資金の調達と返済計画、設備投資の採算計算の考え方の基本は？」

☆経営管理サイクルのキーパーソンである経理リーダーが知っておきたい「採算管理」と「資金管理」の基本を演習を通して習得していただきます。

☆経営管理者、経理実務のご担当者と責任者の方々のご参加をお待ちしております。

☆演習問題を解いていただきますので「電卓」をお持ちください。

日時 令和元年12月18日(水) 10:00～17:00 会場 ちゅうぎん岡山駅前ビル

セミナーカリキュラム

1 経理リーダーに求められる役割

- (1) 経営者を助け、会社を支える「経理部」とは
- (2) 経営者を助け、会社を支える「経理リーダー」とは

2 資金繰りの基礎をマスターするコツ

- (1) 資金繰り状況をつかむための経営指標
 - (2) 資金の範囲を明確にしておきましょう
 - (3) 「3→5→3」の動きで資金繰りを理解する
 - (4) 損益計算と資金繰りの違いを理解する
- <演習>「経常収支」で実力を見る

3 「運転資金」を理解して資金繰りを楽にする

- (1) 資金繰りの悩みのタネ…運転資金の計算方法
 - (2) 運転資金を縮小させる3つの方策
 - (3) 業績アップで運転資金も増加する
- <演習>運転資金を計算してみよう

4 「固定資金」の正しいつかみ方

- (1) 固定資金の調達と返済
 - (2) 設備投資の採算計算の基本
 - (3) 「正味現在価値法」による採算計算
 - (4) 「内部収益率」による採算計算
- <事例>設備投資の採算計算

5 採算管理と損益分岐点分析

- (1) リーダーが知っておきたい採算とは
 - (2) 会計上の利益計算の落とし穴
 - (3) 損益計算書では採算がつかめない
 - (4) 「固定費」と「変動費」に区分する
 - (5) 損益分岐点図表を読みこなそう
 - (6) 利益計画に活かす採算計算
- <演習>「採算計算書」で利益を予測する

6 会社を伸ばす資金繰りと資金計画

- (1) 資金計画表の作成方法
 - (2) 会社を伸ばす資金繰り
 - (3) 実績資金繰りと予定資金繰り表
- <演習>月次予定資金繰り表の作成
- (4) 資金繰り表は毎日管理する
 - (5) 資金繰り表を経営改善に役立てる
 - (6) 資金調達の方法を見直してみる

7 資金繰りを改善する経営とは

- (1) キャッシュフロー経営を実践する
- (2) 売上債権管理を徹底する
- (3) 設備投資資金の調達と返済計画
- (4) 健全な節税知識も不可欠です
- (5) 資金繰り改善の5つの鉄則

※プログラムの詳細については変更する場合がありますのでご了承ください。

講師略歴

税理士・米国税理士・CFP®

高下 淳子 氏

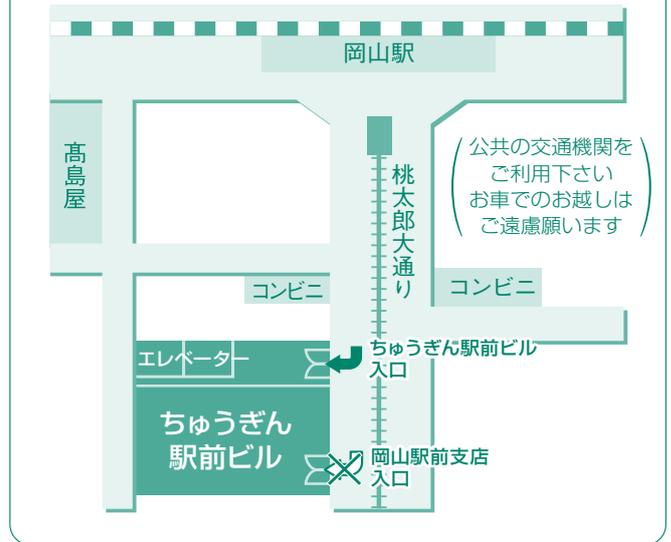
外資系コンサルティング会社（監査法人）に勤務ののち独立開業。

現在、税務会計顧問業、経営コンサルティング業の他、各地の金融機関、シンクタンク等の講演・セミナー講師、企業内研修の企画実施などで活躍中。

講演テーマは広く、新入社員、後継経営者、経営幹部、営業担当者などを対象とした、明快かつ、わかりやすい実践的講義には定評がある。

著書：「経理のしごとがわかる本」「図解 やさしい法人税申告入門」（中央経済社）「今までで一番やさしい法人税申告書のしくみとポイントがわかる本」「決算書を読みこなして経営分析ができる本」（日本実業出版社）など。

【会場案内図】



●定員 / 50名

定員に達した時点で締め切らせていただきます。

●参加費（テキスト代、消費税含む）

維持会員	8,800円
賛助会員	16,500円
会員でない方	28,600円

※昼食はご用意しておりません。各自でお取りください。

（維持会員……年会費3万円の方）
（賛助会員……年会費1万円の方）

●お申込み方法

1. 参加申込書にご記入の上、中国銀行本・支店の窓口、または岡山経済研究所までお早めにお申込み下さい。当研究所のホームページからもお申込みいただけます。
2. 開催日の約2週間前をめぐり、受講票と請求書、振込用紙をお送りします。開催日の前日までにお振り込み下さい。

●その他

- ・ご都合により代理出席も差し支えありません。
- ・参加費は、ご欠席の場合も原則としてお返しいたしません。
- ・録音はご遠慮下さい。

●お問い合わせ先

岡山経済研究所

TEL 086-234-6534

FAX 086-231-5303

E-mail ori@mx.mesh.ne.jp

URL <http://www.okayama-eri.or.jp/>

----- キリトリ線 -----

至 岡山経済研究所
FAX 086-231-5303

経営実務セミナー参加申込書

令和 年 月 日

開催日 及びテーマ	12月18日(水) 『“会社を伸ばす”採算管理と“会社を守る”資金管理』					
フリガナ	電話番号	()	-			
会社名	FAX番号	()	-			
	担当者役職・氏名					
所在地	□□□□-□□□□					
会員区分	ア. 維持会員 イ. 賛助会員 ウ. 会員でない方 (該当に○印をおつけください)					
参加者 氏名	役職名	氏名	年齢	役職名	氏名	年齢
	役職名	氏名	年齢	役職名	氏名	年齢

太線枠内をご記入下さい。

当参加申込書にご記入いただいた情報は、受講票の交付、出欠の確認など、当セミナーの運営管理業務の目的のみに使用させていただきます。